

セコムは社会のあらゆるお困りごとや不安を “ALL SECOM”で解決し、 変容する社会ニーズに的確に応えることで、 持続的な成長をめざします。



飯田 亮
創業者



中山 泰男
代表取締役社長

当期の業績

当期の日本経済は、企業収益、雇用・所得環境が改善するなど、景気は回復に向かいつつありましたが、中国をはじめとする海外経済の減速懸念や、企業や消費者マインドに足踏みがみられるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況下、セコムは“いつでも、どこでも、誰もが「安全・安心・快適・便利」に暮らせる社会”を実現する「社会システム産業」を構築すべく、セキュリティサービス事業をはじめ、防災事業、メディカルサービス事業、保険事業、地理情報サービス事業、情報通信事業、不動産・その他の事業で、お客様のニーズに合致した質の高いサービス・商品の提供に努めました。また、さらなる成長に向けて、多様な社会ニーズに対応すべく、各事業の連携を深め、より一層の相乗効果を生み出すことをめざした“ALL SECOM”を推進し、新サービスやシステムの創出に取り組み、業容の拡大に努めました。

純売上高および営業収入は、オンライン・セキュリティシステムの増収や連結子会社が増加したことなどによりセキュリティサービス事業が増収となったことに加え、大型案件の寄与などによる防災事業の増収や、医薬品などの販売増加や病院の患者数の増加等によるメディカルサービス事業の増収などから、前期比382億円（4.0%）増加の9,834億円となりました。営業利益は、セキュリティサービス事業がオンライン・セキュリティシステムの増収などにより増益となっ

たことに加え、メディカルサービス事業や防災事業も増益となりましたが、長期性資産減損損失が増加したことなどにより、前期比31億円（2.5%）減少の1,189億円となりました。当社株主に帰属する当期純利益は、営業利益が減少しましたが、税制改正による法定実効税率の低下などに伴い法人税等が減少したことなどから、前期比39億円（4.8%）増加の841億円となりました。

株主還元

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置づけ、業容の拡大および連結業績の動向を総合的に判断して、連結配当性向ならびに内部留保の水準を決定し、安定的かつ継続的に利益配分を行うことを基本方針としています。

当期の配当金は、2016年6月24日の定時株主総会において、1株当たり期末配当金70円が承認されました。これにより、当期の1株当たり配当金は、中間配当の65円と合わせて年間135円と、前期比10円の増配となりました。

新体制について

当社は、2016年5月11日開催の取締役会において代表取締役の異動を決議し、中山泰男が代表取締役社長に就任しました。

この新体制のもと、「社業を通じて社会に貢献する」という企業理念を行動指針に、セコムがめざす方向性を明確に示しながらグループを力強くリードし、持続的な成長の実現と企業価値のさらなる向上を図っていきます。

現状認識と主な取り組み

「安全・安心・快適・便利」に対する社会のニーズは、より一層多様化・高度化しながら変化しています。セコムでは、日々変化するニーズをいち早く捉え、「技術力」「人財」「オペレーション・コントロール体制」の3つの経営基盤を活用して、お客様の課題を解決するサービスやシステムを、迅速かつ的確に開発・提供しています。

事業所向けセキュリティサービスでは、高度な画像認識技術を搭載したオンライン画像監視システム「セコムAX」、防犯機能に出入管理機能を付加し労務管理などを効率化することでお客様のコスト削減を支援する「セコムLX」、設備制御機能を持つ「セコムFX」など、付加価値の高いオンライン・セキュリティシステムの提案を強化しました。また、工場など広い敷地を有するご契約先に対して、異常発生時に侵入車両や人物の周囲を近距離で飛行し、鮮明な映像を撮影する民間防犯用の自律型小型飛行監視ロボット「セコムドローン」のサービス提供を開始しました。さらに、より広範囲の安全を見守るための「セコム飛行船」など、先端技術を

駆使した最新のセキュリティシステムの実用化を進めました。加えて、(株)アサヒセキュリティの発行済株式のすべてを取得することで現金護送サービスの拡充を図るなど、事業基盤を強化しました。

家庭向けセキュリティサービスでは、「安全・安心・快適・便利」に対するニーズの高まりに対応し、生活に身近なサービスを提供する機能を付加した「セコム・ホームセキュリティG-カスタム」の普及に邁進しました。また、小荷物専用昇降機で国内シェア首位のクマリフト(株)を子会社化し、セキュリティと昇降機を組み合わせた新たなサービス・商品の共同開発を開始しました。

海外のセキュリティサービスでは、経済発展が続く東南アジアや中国を中心に、機器設置から保守点検、緊急対処までを一貫して提供する「セコム方式」のセキュリティサービスの拡販に努めました。また、海外進出する日本企業に対してもセキュリティ強化の提案活動を推進しました。

防災事業では、国内防災業界大手で連結子会社の能美防災(株)とニッタン(株)が、オフィスビル、プラント、トンネル、文化財、船舶、住宅などさまざまな分野において、高品質な自動火災報知設備や消火設備などの各種防災システムを提供しています。当期も両社の商品開発力などの強みを活かした積極的な営業活動により、発電所やトンネルなどの大型案件を受注しました。

株主の皆様へ

メディカルサービス事業では、訪問看護サービスや薬剤提供サービスをはじめとする「在宅医療サービス」を中心に、シニアレジデンスの運営、電子カルテの提供、医療機器・医薬品などの販売、介護サービス、提携病院の運営支援など、各種メディカルサービスを提供しました。

保険事業では、オンライン・セキュリティシステムの導入によるリスク軽減を保険料に反映した家庭総合保険「セコム安心マイホーム保険」や事業所向けの「火災保険セキュリティ割引」、がん治療費の実額を補償する「自由診療保険メディコム」、セコムの緊急対応員が要請に応じて事故現場に急行するサービスが利用できる自動車総合保険「セコム安心マイカー保険」など、セコムならではの保険の販売が順調に推移しました。

地理情報サービス事業では、人工衛星や航空機、車両などを利用した測量や計測で地理情報を集積し、加工・処理・解析した空間情報サービスを、国および地方自治体などの公共機関や民間企業、さらには発展途上国などの諸外国政府機関に提供しています。当期も国内外の社会インフラ整備や維持管理、リスク・災害対策など多様化・高度化するニーズに、空間情報サービスで応えることに注力しました。

情報通信事業では、データセンターを中核に、BCP(事業継続計画)支援や情報セキュリティ、クラウドサービスを提供しています。当期は、マイナンバー(社会保障・税番号)制度の導入に伴い、利用が開始されたマイナンバーを安全に

収集・保管し、必要な時に安全に使用する機能を一体で提供する「セコムあんしんマイナンバーサービス」を開始し、新たな顧客層を取り込みながら好調に推移しました。

不動産・その他の事業では、セコムならではの防犯・防災対策を充実させたマンションの開発・販売、不動産賃貸および建築設備工事などを行いました。

“ALL SECOM”で持続的な成長をめざす

セコムは、今後の社会の変化を見据えて「セキュリティ」「超高齢社会」「災害・BCP・環境」をテーマに、新サービスやシステムを創出する取り組みを推進しています。また、多様化・高度化する社会ニーズに応えるため、“ALL SECOM”を強力に推進し、各事業の連携を一段と深め、グループの総合力と競争力を一層強化することで、持続的な成長をめざしています。

近年、社会的課題の解決に対する企業への期待がますます高まっていますが、セコムでは創業当初から「社業を通じて社会に貢献する」という企業理念のもと、社会的課題の解決に役立つ「安全・安心・快適・便利」なサービスやシステムを開発・提供しています。例えば、社会を脅かすリスクの増大に伴い高度化するセキュリティニーズに応え、セコムは上空から俯瞰して監視を行う「セコム飛行船」など、広範囲に安全を見守るサービスの開発・実用化を推進しています。2016年5月に開催されたG7伊勢志摩サミットでは、高精度

な3次元立体地図によるセキュリティプランニングを使った警備計画の作成や、「セコム飛行船」による上空からの監視画像の提供などにより、安全な運営に貢献しました。

また、ご家庭向けには、ご契約先の「安全・安心・快適・便利」な日常生活の支援を強化するために、セキュリティサービスの事業基盤を活用し、「セコム・ホームセキュリティG-カスタム」を核にして、生活支援サービス「セコム・ホームサービス」、高齢者向け救急時対応サービス「セコム・マイドクタープラス」などサービスメニューのさらなる拡充を図り、お客様の日常の安心感を高めるサービスの開発に努めています。さらに、物理的な「安全・安心」に加えて、「セコムあんしんマイナンバーサービス」「セコム・プレミアムネット」など情報セキュリティに関わる新サービスの提供にも注力しています。また、高齢者の多様なお困りごとにきめ細かく対処すべく、住み慣れたご自宅で暮らしたい方々の支援を行う、地域限定の会員制サービス「セコム・マイホームコンシェルジュ」を開始するなど、超高齢社会に対応したサービス拡充を推進しています。

そして、日本市場で培われたセコムならではの高品質なサービスやシステムを、海外の国や地域のニーズに適応させながら、グローバルな事業展開を加速しています。

セコムは、「信頼される安心を、社会へ。」というコーポレートメッセージのもと、社会のさまざまな場面でのお困りごとや日常の不安を“ALL SECOM”で解決し、「気づいたらセコ

ム」と呼ばれるようなサービスを提供することで、「社会システム産業」の構築を一段と加速していきます。

その一方で、社員満足度の向上は、より高品質なサービスやシステムの提供につながり、顧客満足度の向上に大きく貢献します。その実現のために、社員一人ひとりが、社会やお客様の期待や信頼に応えることで得ることのできる達成感や満足感を一層高め、明るく自由闊達な組織風土のさらなる醸成を図ります。今後ともセコムは、顧客満足度の高いサービスやシステムの提供を通して、持続的な成長と企業価値のさらなる向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、セコムの事業展開に引き続きご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2016年6月24日

飯田 亮 中山 泰男
創業者 代表取締役社長